

—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—



月刊



ポケットあわじ 島の女子力



VOL.166

もくじ P1 華みこし P2 淡路Angel Star P3 洲本高校邦楽部・いすみ会 P4 ボランティア女性3人衆 P5 みたから御詠歌講・琴成会さくらんぼ P6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

育波八幡神社



華みこし

祭りといえば威勢の良い「みこし」「だんじり」がぱっと思い浮かびます。淡路市育波の育波八幡神社では、今年も4月10日(日)に春祭りを催行する予定です。その祭りに今年も「華みこし」が花を添えます。

ことのきっかけは、平成22年4月の新町内会役員会でのことです。伝統ある祭りを見に来てくれる参拝者が減少し、淋しくなっていることに話題が集中。何か妙案がないかと考え、今までのように男性中心の祭りから女性のみこしが参加することによって、以前のような賑やかさを取り戻せればということになり、宮総代会にはかりました。宮総代会では、本来の祭りを取りまとめる宮総代ではなく、「育波の祭り活性化実行委員会」を母体とした別組織を立ち上げ、実施することになりました。

最初は、未婚の方で20歳前後の女性の家庭を1か月間毎日訪問しましたが、余り良い返事をいただけませんでした。その後、中学生から既婚者も視野に入れ、中学校の協力を得てやっと中学生11人の応募をいただき、初めてお祭りに参加することができました。その人たちは、春・秋と担いでくれて、見物客も多く増え、賑やかなお祭りになりました。

最近では、少子化の波が育波にも押し寄せ、氏子だけの担

ぎ手では100kgのみこしが上がらず、近隣の中学生、パソナ、関西看護医療大学、淡路島観光協会の皆さんの協力を得ながら実行しています。参加された人のアンケートでは、「重たく肩や腰が痛かったが、その後の気分が爽快で、また参加したい」と書いてありました。

今年もピンクの法被で、足取りも軽やかに、見物人も一緒になって大きな声をかけ合い、自分たちも参加している気分、目はキラキラ宝石のように輝き、どの人の顔も笑顔のお祭りにできたらと願っています。昔からある伝統的な行事を大切に、皆さんが力を合わせて大きな声を出して笑顔でいるということは健康の秘訣ですね。

皆さんも育波八幡神社の春祭りに一度足をお運びいただき、熱気・活力を身体いっぱい吸い込んで、素晴らしい明日への夢を見出しましょう！（応援隊：廣岡 ひろ子）

育波の祭り活性化実行委員会 委員長 柏木 英樹さん
TEL / FAX 0799-84-0161



兵庫県軟式野球連盟唯一 女の子ばかりの 少年野球チーム

あわじエンジェルスター

普段は男の子と一緒に練習や試合をしています。

キャプテン
馬戸 唯愛さん



女の子だけの少年野球チーム 淡路Angel Star

女子プロ野球チーム「兵庫ディオネ」が本拠地を淡路島に置いて活躍していますが、この淡路島にも一つの女子野球チームがあるのをご存知でしょうか？それは「淡路Angel Star(あわじエンジェルスター)」という、淡路島内の小学2年生から6年生までの17人で結成された兵庫県軟式野球連盟唯一の女の子ばかりの少年野球チームです。チーム名は「天使が星のようキラキラと輝きますように」と名付けられたそうです。

このチームの選手たちはそれぞれ地域の少年野球チームに所属しており、普段はそのチームで練習や試合をしています。1年に数回ある小学生の女子だけの大会に参加する時に集まります。監督で南淡路軟式野球協会理事長の富士木さんにお伺いすると「チームができたのは2年前で、野球人口を増やすた

めに底辺拡大、そして、女子だけの大会に参加するために結成されました」とのことでした。

キャプテンの広田小学校6年生の馬戸唯愛さんは「このチームではピッチャーとショートをやっていますが、普段は広田少年野球クラブで男の子と一緒に練習や試合をしています。中学校に行ったらソフトボール部に入りたいです」と元気に語ってくれました。練習風景を見せていただきましたが、目をキラキラさせながらボールを投げたり打ったりしていました。

このチームのOGは、中学校へ行っても野球部やソフトボール部でとても活躍しているそうです。また、随時選手を募集していますので、島内の女子小学生で野球をしてみたいという人がおられましたら、いつでもお問い合わせくださいとのことでした。

(応援隊:田処 竜久)

問合せ先:南淡路軟式野球協会理事長 富士木 弥(わたる)さん 電話080-3831-0892(朝8時~11時)

洲本高校 邦楽部



洲本高校邦楽部は、昭和57年に尺八を中心とした邦楽同好会として発足しました。当時より、生田流箏曲葉風会の狩野景葉さんの熱心な指導を受けており、現在では、文化部・体育部共に盛んな洲本高校にあって、女子部員のみ21名が所属する全国レベルの活発な部活動となっています。

主な活動は、文化祭での演奏や学校を離れていろいろな演奏会へ参加したり、地域の敬老会での演奏などです。毎年11月には、兵庫県高等学校総合文化祭に参加します。この大会で上位2位に入り全国大会へ出場するのが、部員の大きな目標になっています。今年の夏、広島県で開催される「全国高等学校総合文化祭」には、昨年に引き続き記念すべき10回目の出場が決まってい

ます。部長の浜田爽花(さわか)さんは、「今のメンバーで全国に行けることになり、ホッとしています」と一言。ご自身を含めて、高校へ入学して初めて箏を始めた部員がほとんどの中で、部をまとめていくことのご苦労を強く感じました。

取材時には、春の新生歓迎行事で演奏する「情熱大陸」と全国大会で演奏する「炎」を練習していましたが、皆さんの集中力がとても素晴らしく、まさに箏曲に取り組む若者たちの『炎の情熱』がひしひしと伝わってきました。全国大会で好成績を収めて、国立劇場で演奏できることを心より願っています！ (会館：中田)

演奏予定：淡路が「グループ・ポート・コカト」春希望の歌～春の息吹を感じながら～に
ゾイ参加 4/16(土)14:00(開場13:30) 洲本市文化体育館 入場料¥1,000(予定)

「60歳になっても 病気になる体作り」いずみ会

いずみ会は、「60歳になっても病気になる体作り」をモットーに、さまざまな場所に出向いて料理の講習を行なっているボランティア団体で、その会員さんのほとんどが女性です。

昨秋 緑綬褒章受賞



南あわじ市いずみ会 会長 登里倭江さん

三食バランス良く薄味で・・・

会長の登里倭江さんは、昭和61年に西淡町でのいずみ会の立ち上げから関わり、30年近く「薄味」「三食バランス良く」食べて健康でいられる良さを伝え続けて来られ、昨秋緑綬褒章を受けられました。「誰かて、食べることは好きやろ？ 食べたら元気になるしな。でも好きなもんばかり食べてて病気になるらつまらん。健康で長生き！のために、ちょっとでもええことを伝えようと思ってやってきた。」その活動は公民館での郷土食「ちよぼ汁」や押しずしの振る舞い、学校での学年に応じた授業サポートなど多岐にわたります。

また、最近話題の「男の料理教室」も10年前から年間10回の講習を行なっています。みなさんどこかでお世話になっているかもしれません。「1回の講習で、何か一つでも健康につながる食習慣を伝えて、その人が知り合いに伝えてくれたら少しでも広がってみんなが元気になる。」そんな登里さんと一緒にいずみ会の活動をやってみませんか？ 会員大募集中です。もちろん男性も熱烈大歓迎だそうです。

さまざまな場所に出向いて料理の講習をしています。

(応援隊：浜田 泰美)

ボランティア女性3人衆

ステンシル

トールペイント



伊達久美子さん

デクート光子さん

林由美子さん

得意のトールペイントやステンシルで何年もボランティア活動をしているグループを紹介します。デクート光子さん(淡路市)を代表とする、伊達久美子さん、林由美子さん(共に南あわじ市)の3人。代表の光子さんは、自身が趣味として始めたトールペイント(油絵の具で木や布など何でも絵を描く新アート)ですが、今では淡路市や南あわじ市でたくさんの生徒に教えています。それを何かいかせないかと始めたのが島内の障がい者支援施設でのボランティア活動です。メンバーは代わりましたが、通算20年近く活動を続けています。現在は「フローラスもと」で、月1回ステンシル技法(絵柄を切り抜いた型紙を素材に当て、絵の具をつけた筆やスポンジで、パッティングしてプリントをする方法)で利用者の皆さんと作品を作っています。



利用者さん達が作業がしやすいようにお手伝いやアドバイスをします。

心身機能の維持や向上に少しでも役に立てばという願いで活動をしています。

作品はA5版程度の木製の壁掛け。取材した2月は、おひな様のデザインでした。ちなみに1月は干支の申、2月は豆まきと、季節感あふれるデザインです。まず、板に下地の絵の具を塗るところから始めて用意された型紙を使って、何段階にも分けて色を重ねていきます。そうすると、だんだんとお内裏様、おひな様ができあがっていくという技法。型紙を動かさずにブラシで叩いて色を乗せていくのは、集中力もいり、根気もいる作業です。細かい作業もあります。光子さん達は利用者さん達が作業がしやすいように、お手伝いをしたりアドバイスをします。利用者さん達は午後は違う活動があるので、午後は3人で色を足したり、描き足したりして全員の作品を仕上げます。そして、ニスを塗り、ひもをつけて完成です。毎月の活動が楽しみだという利用者さんの声。また、持ち帰る作品を楽しみにしている家族の声も聞くそうです。3人は作品を作ることを通して、利用者さんが達成感を味わい、心身機能の維持や向上に少しでも役に立てばという願いで活動を続けています。「関心のある人、一緒にやりませんか?」と、光子さんの声です。

(応援隊:村上紀代美)



仕上げ作業中

できあがり!



2月の作品

1月の作品

巡礼の旅に向けて練習中

“みたから御詠歌講”の集い

・りょうおぜんの
しゃかのオ みまえにめぐりきて…



左手に鈴→

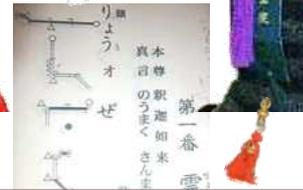
右手に鉤杖↓



場所:三宝院
日時:毎月1回 19:30~21:00
連絡先:樹下 真快(じゆげ しんかい)さん
洲本市五色町下堺 営0799-35-0029



三宝院 副住職



♪「りょうおぜんの しゃかのオ みまえにめぐりきて…」左手に鈴(れい)を持ち右手には鉤杖(しもく)をもって御詠歌を唱えているのは、五色町上堺にある三宝院で行われている『みたから御詠歌講』に集う女性12名の皆さん。線のような記号で書かれた音符を見ながら鈴鉦を鳴らし、みんなで声を揃えて唱えていきます。御詠歌とは、仏教の教えを五・七・五・七・七の和歌にして旋律(曲)に乗せて唱えるもののようですが、わかりやすく言うと、仏様・お大師様のありがたさを音に出して伝えることなのだそうです。

この『みたから御詠歌講』が始まったのは、平成26年7月31日のこと。まだ1年半しか経っていないとは思えないほどの出来栄で、ゆったりと唱えられる歌声を傍で聞いているだけで心が洗われ安らかな気持ちになれます。御詠歌が亡き人の供養のために捧げられるというもなんだか納得できそうです。

皆さんに御詠歌を始められたきっかけや魅力についてお話を伺ったところ、「法事で御詠歌を聞いてぜひやってみたく思っていた」「80歳を過ぎても挑戦したかった」「教えてもらう場所や指導者が見つかった」「教えてくれる副住職さんの声に惹かれて」など、女子力を感じさせてくれる内容が殆どでした。また、巡礼の衣装に魅力を感じている方や仲間と一緒に学べることの喜びを感じている方もおられました。何より誰でも隔たりなくこの集まりに参加できるということも大きな魅力のようです。

3月にはみんなで四国八十八か所巡礼の旅に出かける予定だそうです、この日も礼所で唱える御詠歌の練習をされていました。今後は、もっともっと練習を重ね鈴の公鏝房(くみふさ)の色が赤色から白色へと格があがっていくことを目標に励みたいと抱負を語ってくれました。

(応援隊:瀬戸 由美子)



今月の生活創造活動グループ紹介

琴伝流大正琴 (琴成会さくらんぼ)

琴成会は新家成子先生が創立しました。今はご高齢ですが、淡路中を東奔西走しておられます。会は少人数グループの集まりで、地域の公民館にて月2回の稽古。毎年行事は、年1回会場を借りて、手作りのおさらい会を開いて、会員相互の交流を図っています。次に、ほほえみコンサートです。これは兵庫県内のグループの交流の一環として、市川町文化センターと洲本市文化体育館を交互に

会場利用して続けています。他には、琴伝流大正琴本部の大会で、兵庫県大会・西日本大会・全国大会などへの出演、今年は徳島で全国大会が開催されます。

大会以外では、各地域の集いの場・施設訪問・保育所などに参加させていただいています。大正琴の曲目も童謡・アニメ・演歌と幅広く揃っており、会場の場に合わせた演奏をしたり、皆さんと一緒に歌ったりできるので、



1人でも多くの人に和んでいただけるようにと努力しています。興味のある方はお気軽に教室をのぞいてください。

(代表:東 あけ美)

淡路文化会館からのお知らせ(いざなぎ学園受講生募集・淡路生活創造応援隊募集)

「いざなぎ学園」平成28年度受講生募集!

◎淡路島の魅力や再発見ができたり、健康や生活に役立つことが学べます。
◎新しい仲間との出会い、講座での発見が新たな喜びになります。
〈学校教育法第1条に規定する大学とは異なります。〉

- ◎募集講座：4年制大学講座(60名：先着順)
2年制大学院講座(30名：先着順)
- ◎講座内容：教養講座(郷土文化、歴史、時事、健康)
専門講座(歴史文化、健康環境)
実技実習講座、学年別講座、
その他(サークル活動、特別講座、
自治会活動)



- ◎対象：概ね60才以上の県内在住の方
- ◎受講料：12,500円(その他自治会費等)
- ◎募集期間：～平成28年4月15日(金)
- ◎応募方法：公共施設等の募集案内または淡路文化会館のホームページをご覧ください。
- ◎問い合わせ先：淡路文化会館(淡路市多賀600)
TEL 0799-85-1391

淡路生活創造応援隊募集!

あなたも生活創造ボランティアに参加してみませんか?

- ◆主な活動内容：本会館発行の月刊情報誌生活創造しんぶん『ポケットあわじ』に関する取材・寄稿・配布等です。
- ◆主な活動日：毎月末1回の編集会議(楽しい賑やかな情報交換の場となっています。)
- ◆会議の場所：淡路文化会館(淡路市多賀600)
- ◆募集条件：淡路島内にお住いの方で、生活創造活動に理解のある方ならどなたでもOK

【問い合わせ先】

淡路文化会館
TEL：0799-85-1391
FAX：0799-85-0400



淡路消費生活センターからのお知らせ

★最近の相談★

2015年2月から大手通信会社による光回線の「卸売」が始まり営業が活発になっています。それに伴い、契約中の大手通信会社のインターネット光回線を他社との契約に簡単に乗換えられる「転用」に関するトラブルが急増しています。

〈相談事例〉

- ・契約中の大手通信会社からの電話だと勘違いさせるような勧誘がある。
- ・業者から「転用」について十分な説明がない。
- ・書類が届いてから初めて契約先が変更になったことを知り、契約内容の詳細に気付く。等

〈契約前の注意点〉

- ①「転用」により回線サービスが大手通信会社から他社に変更になる。
- ②現在利用中のプロバイダの解約に解約料が必要になることがある。
- ③「転用」によりアドレスが変更になることがある。
- ④解約を申し出ると解約料が発生し、電話番号も変更になってしまう。

安易に了承せず、契約は慎重に。不審な場合は消費生活センターに相談してください。

兵庫県淡路消費生活センター
消費生活相談・多重債務相談
☎0799-23-0993
9:00～12:00 13:00～16:30
(土日祝日・年末年始は除く)



淡路島のまち・地域づくり活動を応援する「プラットフォーム淡路島」からのお知らせ

「新春！ 賀詞交歓会」ご参加有難うございました

「食べにケーション！！地域づくり活動交歓会」と銘打って、1月29日(金)に地域づくり活動交歓会が午後5時から洲本市文化体育館で開催されました。運営委員の皆様持ち寄りの食材でカレー・そば・おでん等会場で料理をして、その上、パン・チョコレート・イチゴ・コーヒー・各種ドリンクをテーブルに用意して、ご参加の皆様と食しながら賑やかに歓談しました。

お集まりいただいた皆様の日頃の活動状況やPRなどを発表していただき、素晴らしい集まりになりました。初めての開催でしたが、是非来年も開催して、もっと多くの方々にお集まりいただき、年の初めのスタートにしたいと感じました。



【お問い合わせ先】

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課まで
TEL 0799-26-2043 FAX 0799-26-3090
e-mail awajikem@pref.hyogo.lg.jp



施設等	イベント	日時・会場他	料金・問合せ先他
(一財)淡路島くにつみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	「淡路花祭2016春」花と緑の講演会 演題：花がもたらしてくれる幸せ 講師：真野響子氏(女優)	3/19(土) 14:00～16:00 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス 300名(事前申込が必要です。)	無料 【問】詳しくは「淡路花祭」ホームページへ
淡路島国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	桜まつり～淡路でいちばん早いお花見を楽しもう♪～(期間中の土日にイベントあり)	3/5(土)～3/18(金) 9:30～17:00(イベントにより異なる) 春一番の丘ほか	料金はイベントにより異なる(別途入園料、駐車料金必要) ※雨天中止のイベントもあり 【問】明石海峡公園管理センター 0799-72-2000
	クリスマスローズの生産・育種の専門家によるクリスマスローズ講習会	3/6(日) ※雨天中止 13:00～14:30 クリスマスローズガーデン ※要事前申込	無料(別途入園料、駐車料金必要) ※申込方法：2/26(金)10:00より電話で受け付け 【申込・問】同上
	春の野点	3/13(日) 10:00～15:00(なくなり次第終了) 春一番の丘(雨天時ビジター棟)	300円(別途入園料、駐車料金必要) 【問】同上
兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201	K.T.S原種カトレア愛好会コンテスト	～3/6(日) 10:00～18:00 (最終入館17:30)	入館料：大人1,500円、65歳以上(要証明)750円、高校生750円、中学生以下無料 【問】淡路夢舞台温室 0799-74-1200
	阿部一成篠笛コンサート「桜と笛とからくり音楽」	3/26(土) 13:00～、15:00～	入館料：大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料 【問】同上
兵庫県立淡路景観園芸学校 〒656-1726 淡路市野島常盤954-2 TEL 0799-82-3455 FAX 0799-82-3124	花と緑のまちづくりを学ぼう！生涯学習講座「平成28年度まちづくりがーデナー本科コース(前期)」受講生募集 ※植物の栽培・維持管理、花と緑のまちづくりの基礎的な知識・技術を学ぶ。	期間：4～9月(8月を除く)のうち月3日 募集人員：40人 申込締切：3/11(金)必着	費用：15,700円(実習材料費など別途) 所定の申込書を同校へFAX等で(応募多数時は抽選)
淡路市北淡歴史民俗資料館 〒656-1741 淡路市浅野南240 TEL 0799-70-4135 82-2177 FAX 0799-82-2177	企画展 昔のくらし展 ※くらしのうつりかわりの一端をご覧ください。 昭和20年～40年代の道具などを中心に約60点展示	～3/27(日) 展示館2階 展示室 9:00～17:00 (最終入館16:30)	入館料 大人(中学生以上)210円、小人(幼児無料)100円 ※ココロンカード、のびのびパスポート利用可 【問】北淡歴史民俗資料館 0799-70-4135 0799-82-2177
淡路人形座「3月公演」『壺坂』『阿波十』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072	3/1(火)～14(月) 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「人形解説」・「壺坂靈験記 山の段」 ※11(金)午後と12(土)は出張公演のため休館します。 3/15(火)～31(木) 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「人形解説」・「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」 ※19(土)～21(月・祝) 11:00の上演は、「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」です。 ※上演内容は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。 【今月のトピックス】 3/19(土)～21(月・祝) 11:00～ 「人形解説」・「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」 ※源平の戦いゆかりの地「煙島」にちなんで「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」を上演します。 3/26(土) 第15回若葉会(淡路人形座素浄りの会) 開場17:00 開演17:30 入場券 前売り1,000円、当日1,200円(淡路人形座サポートクラブ会員・学生無料、未就学児不可) 演目 「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」・「菅原伝授手習鑑 寺子屋の段」 ※3/23(水)までに入場券を電話予約いただいた方にささやかな15周年の記念品をご用意します。 ※「若葉会」とは、重要無形文化財義太夫保持者(人間国宝)鶴澤友路師の芸を後世に伝えようと淡路人形座の太夫・三味線で結成された会です。素浄り(人形がつかない太夫・三味線のみの演奏)の形態での上演です。 【3月の休館日】3/2(水)、9(水)、11(金)午後、12(土)、16(水)、23(水)、30(水) ※11(金)午後と12(土)は、出張公演のため臨時休館します。	3/1(火)～14(月) 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「人形解説」・「壺坂靈験記 山の段」 ※11(金)午後と12(土)は出張公演のため休館します。 3/15(火)～31(木) 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「人形解説」・「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」 ※19(土)～21(月・祝) 11:00の上演は、「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」です。 ※上演内容は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。 【今月のトピックス】 3/19(土)～21(月・祝) 11:00～ 「人形解説」・「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」 ※源平の戦いゆかりの地「煙島」にちなんで「一谷嫩軍記 須磨浦組討の段」を上演します。 3/26(土) 第15回若葉会(淡路人形座素浄りの会) 開場17:00 開演17:30 入場券 前売り1,000円、当日1,200円(淡路人形座サポートクラブ会員・学生無料、未就学児不可) 演目 「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」・「菅原伝授手習鑑 寺子屋の段」 ※3/23(水)までに入場券を電話予約いただいた方にささやかな15周年の記念品をご用意します。 ※「若葉会」とは、重要無形文化財義太夫保持者(人間国宝)鶴澤友路師の芸を後世に伝えようと淡路人形座の太夫・三味線で結成された会です。素浄り(人形がつかない太夫・三味線のみの演奏)の形態での上演です。 【3月の休館日】3/2(水)、9(水)、11(金)午後、12(土)、16(水)、23(水)、30(水) ※11(金)午後と12(土)は、出張公演のため臨時休館します。	

施設等	イベント	日時・会場	料金等
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	2015すもとの夕日フォトコンテスト応募作品展 ※火曜日は施設休館日です。	～3/11(金) 9:00～21:00 ※最終日は15:00まで 1Fエントランス	無料 【問】 五色総合事務所窓口サビ入課 0799-33-0160
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 0799-22-3322	傑作!!できばえおみごと展 ※洲本市民工房利用団体による毎年恒例の作品展覧会 ※洋画、日本画、水彩画、工芸、書道、写真等多数出展	3/5(土)～12(土) ※3/10(木)休館 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで 3Fギャラリー	入場無料 【問】 洲本市民工房 0799-22-3322
	第4回島内高校美術部作品展 ※島内高校の美術部作品展 ※油彩、アクリルの絵画、デザイン、イラスト、立体作品展示	3/25(金)～27(日) 10:00～20:00 ※初日は13:00から、最終日は15:00まで 3Fギャラリー	同上
洲本市市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	質実剛健!!日本の平和と安全を守るため日々活動する自衛隊 ※自衛隊の活動や装備を地域の皆様に認識していただくことを目的とする。	3/2(水)～31(木) 9:00～21:00 ※最終日15:00まで ※月曜日休館 アールギャラリー	観賞無料 【問】 市民交流センター 0799-24-4450
南あわじ市滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成27年度 館蔵品展IV 平成28年度玉青館「友の会」会員募集中 年会費1,000円 詳しくはお電話でお問合せを!!	～3月下旬 9:00～17:00 ※入館は16:30まで ※月曜日休館 ※3/15(火)～19(土) 燻蒸作業につき、臨時休館	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】 玉青館 0799-36-2314

- 内容 兵庫県重要文化財の伝統芸能「淡路人形浄瑠璃」の写真展
- 場所 オリンプスギャラリー大阪 (地下鉄四ツ橋線本町駅22, 23番出口)
- 期間 2016年3月4日(金)～3月10日(木)
10:00～18:00 (最終日～15:00) 日曜・祝日休館
- 問合せ先 MID西本町ビル1F リンパ'ス'ギャラリー大阪 TEL 06-6535-7911



後藤剛 写真展
『淡路人形浄瑠璃』

平成28年度「花づくり講習会講師派遣事業」申請団体募集 《(一財)淡路島くにうみ協会委託事業》

淡路島の団体が実施する花づくりの講習会に対し、団体レベルに合った指導を行う講師を派遣します。
 ■ 募集期間：3月1日(火)～5月31日(火) ■ 実施対象期間：6月1日(水)～平成29年2月28日(火)
 ■ 実施対象団体：5名以上の島内花づくりグループ等
 <申込み・問い合わせ先> NPO法人あわじ緑花協会 TEL 0799(42)5111 FAX 0799(42)5151

平成28年度 都市農村交流促進事業申請団体募集

- ◆ 補助上限額 50万円(人件費、食糧費、備品費等を除く。) ※予算額に達し次第終了。
- ◆ 対象事業事例 淡路島内で実施される農漁村体験型プログラム、アグリツーリズム
都市と淡路島内の農漁村と相互交流イベント
都市と淡路島内の農漁村との交流に係る人材の育成 等
- ◆ 詳細 (一財)淡路島くにうみ協会HP参照(申請書ダウンロード可) <http://www.kuniumi.or.jp/>
TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521



編集
だより

東日本大震災あの日から今月で5年がたちます。阪神淡路大震災から21年、同じ被災を受けましたが、私達は今、少しは前を向いて進んで来ました。東北の人達とは気にかけていた矢先、東北の被災地を支援、もちつきなどで交流するツアー参加募集の記事が目にとまり、12/25～28に参加しました。夕方、洲本をバスで出発、翌日朝早く到着。さあ、もちつき開始です。地元の婦人会の人達と和気藹藹に口と手を交互に使って、納豆餅、ずんだ餅、あんころ餅の完成です。つきたてをいただきながら、お正月は新居でと嬉しそうに言っておられました。何もかも津波に流されて悔しく悲しく辛い毎日のように。私達が話している時には、笑顔も忘れず身振り手振りでその時の体験を話して頂きました。かさ上げされた所に家が建ち始め、海岸の松林を乗り越えて津波が押し寄せた所には何もなく波の音だけが・・・今、私達が支援といっても何が出来るか?考えさせられた3日間でした。機会があれば、また訪れたい所です。(応援隊:岡まさよ)

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、毎月3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約220カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページには、カラー版を掲載していますので、是非ご覧ください。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。 <http://www.eonet.net.jp/~awaji-cc/>

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp

